

PLUS Furniture Company



オフィスはもっとフレキシブルに

フリーアドレスを導入した オフィスデザイン事例集

目次

はじめに	2 ページ
社員にとって魅力的な空間を実現したオフィス	3 ページ
【事例】 株式会社コスモ調剤薬局様	
明るくのびのびと仕事ができるフリーアドレスの空間	5 ページ
【事例】 グローバルセキュリティエキスパート株式会社様	
社員の自律的な動きを促す新しいオフィススタイル	7 ページ
【事例】 ネットイヤーグループ株式会社様	
社員が自身のワークスタイルを自ら構築できるオフィス	8 ページ
【事例】 株式会社プラネット様	
使い心地の良さを目指したハイブリッド型フリーアドレス	9 ページ
【事例】 プラス株式会社ファニチャーカンパニー	

IT技術の発展や労働者の意識の変化を受け、今、働き方のスタイルが大きく変化しようとしています。一昔前までは、オフィスといえば社員全員が同じ空間に集まって業務を行うスタイルが一般的でしたが、最近ではテレワークや在宅勤務、時短勤務など、同じ会社で働く同僚がその場にはいない（もしくは一日を通して在席していない）といったケースもめずらしくありません。

これらの柔軟な勤務体系は、労働者のワーク・ライフ・バランスを実現したり、業務の効率化を図るものとして好意的に受け入れられていますが、一方で、オフィス自体がこうした勤務体系に十分に適応できていないという声も聞かれます。例えば、時短勤務の社員が増えることで1日を通しての在席率が減少し、オフィス空間の使い方が非効率になるなどはその一例といえるでしょう。

こうした課題の解決策のひとつとして、最近注目を集めているのが、フリーアドレスでオフィスを運用するというアイデアです。あえて固定席を決めず、社員がその日の気分や業務内容にあわせて自由に席を選ぶことができれば、業務の効率化につながるだけでなく、在席していない社員のスペースまで有効に使うことができるでしょう。結果として、オフィス空間のコンパクト化や、賃貸料などコストの最適化を実現することも可能になります。

この資料では、すでにフリーアドレスの導入・運用を進めている企業様の事例をまとめて紹介しています。自社オフィスにフリーアドレスを導入する際のアイデア集めに、ぜひご活用ください。



事例①

社員にとって魅力的な空間を実現したオフィス

株式会社コスモ調剤薬局様

複数の企業や大学を視察しアイデアを構築

株式会社コスモ調剤薬局様は、地域社会への医療貢献を掲げ、1986年に医薬分業の草分けとして創業。現在は薬局・訪問看護リハビリステーション17店舗の運営を行っており、本社はその統括管理を担う役割を持っています。

同社がオフィス移転にあたり重視したのは、「これからのオフィスは、社員にとって魅力的な空間であるべき」という社長の想いでした。オフィス構築にあたってはそれまでの働き方やオフィス空間を見直し、さらに海外の大学や企業を多数視察するなど、同社にとって理想的なオフィスとはどんなものであるかを追求し、少しずつアイデアを具現化したといいます。そして最終的に、業務形態の異なるワーカーが集まる新オフィスでは、会長室や社長室も取り払った完全フリーアドレス制のオフィスを構築することを決定したのです。



コミュニケーション性を重視したフリーアドレス



開放的なハイカウンタースペース

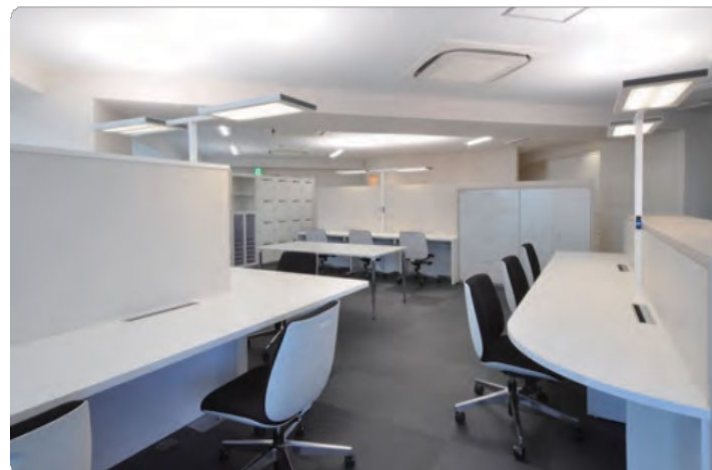
事例①

高い集中力とコミュニケーション性を両立

同社のフリーアドレスデスクは、前面に高めのパーティションを配置して、従業員一人ひとりが集中して業務に取り組めるよう設計されているのがポイント。さらに、デスク後部には共有のテーブルを配置し、振り向けばそのまま打ち合わせに入ることができるなど、高い集中力とコミュニケーション性を両立しています。デスク正面パネルの下地には鋼板を使い、木目のナチュラルな表情を持ちながらも、マグネットで資料の貼付けができるなど、使い勝手にもこだわっています。また、デスクの脇には外の景色が一望できるハイカウンター席があり、業務中に気分を変えたいときや一息つきたいときなどに自由に使えるようになっています。このほか、執務室の照明には朝から夜にかけて自動で色温度が変化するサーカディアン機能を採用したタスク＆アンビエント照明を採用。その場にいる人が、いつでも心地よい明るさで業務に取り組めるよう配慮するなど、同社らしい働きやすさにこだわった、理想のオフィスを実現しています。

！ 同社事例のポイント

- 業務形態の異なるワーカーに適したフリーアドレス
- 高い集中力を保つデスク正面のパネル
- 振り向けばすぐ打ち合わせができるレイアウト
- 気分転換に最適なハイカウンタースペース
- 居心地の良さを確保するタスク＆アンビエント照明



時間に合わせて
色温度が変化する照明

！ 事例データ

社名：株式会社コスモ調剤薬局様
オフィス面積：204 m²
入居者数：20名
内容：オフィス移転

※本事例公開時の情報です。

事例②

明るくのびのびと仕事ができる フリーアドレスの空間

グローバルセキュリティエキスパート株式会社様

フリーアドレスを前提とした家具の選定

情報セキュリティ専門のコンサルティング会社であるグローバルセキュリティエキスパート株式会社様が、オフィスの移転にあたり重視したのは「明るくのびのびと仕事ができる空間、来となるオフィス」を実現すること。業務効率の向上はもちろん、社員一人ひとりの働きやすさにもこだわり、オフィスを計画していきました。

執務室はその日の気分や業務内容に合わせて自由に座る場所を選べるフリーアドレス制を採用。チェアもさまざまな人が座ることを前提とし、簡単な操作でその人に合わせた快適な座り心地が得られるよう、ハイバックタイプのカイルチェアを選定しました。

また、同社のフリーアドレスはカラーコーディネートにもこだわっているのが大きな特徴です。フロアを中心部にはCIカラーであるブルーのチェアを、窓側にはオレンジやグリーンのチェアを採用し、エネルギーを感じられる鮮やかな色合いを配しています。オフィス中央と窓側のテーブル天板は、働きやすさを重視して目に優しいナチュラルカラーの木目を採用しました。



カラーコーディネートにもこだわったオフィス



フリーアドレス運用を前提としたチェアを選定

事例②

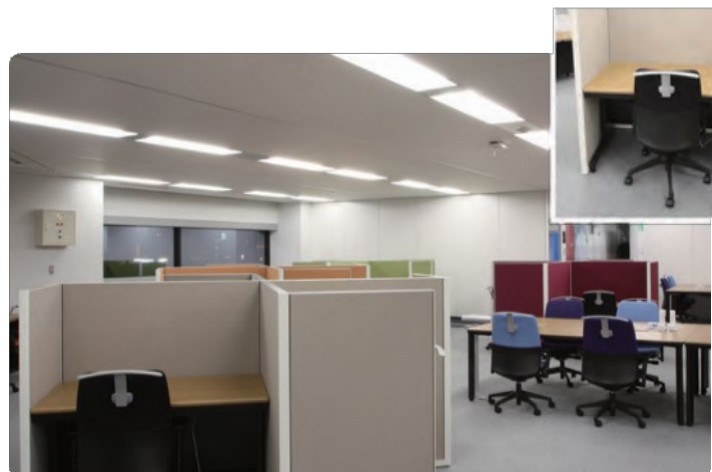
業務内容に合わせて選べるスペース

同社のフリーアドレス制はただ同じ用途のデスクを並べるだけでなく、業務内容や好みに合わせて座席を選択できるのが大きな特徴です。メインとなる執務スペースのそばにはローパーティションで囲まれたデスクを配し、集中して業務に取り組みたい社員のためのブースを用意しました。

また、景色のよい窓側にはソファスペースを配置。ちょっとした打ち合わせはもちろん、社員同士の偶発的な会話も増えるなど、社内コミュニケーションの活性化にもつながっています。フリーアドレスらしい開放的な雰囲気と社員の働きやすさを両立した同社のオフィスは、まさに当初の目的である「明るくのびのびと仕事ができる空間」を体現したものといえるのではないのでしょうか。

！ 同社事例のポイント

- フリーアドレスを前提としたチェアの選定
- 中央部分と窓側でチェアの色を分けるなど、ゾーニングを意識したコーディネート
- テーブルは目に優しいナチュラルカラーを採用
- 集中して業務に取り組めるブース席を配置
- 偶発的なコミュニケーションが生まれるソファスペース



集中して業務に
取り組めるブース席



活発なコミュニケーション
を促すソファスペース

！ 事例データ

社名：グローバルセキュリティエキスパート株式会社様

オフィス面積：743.71㎡

入居者数：90名

内容：オフィス移転

※本事例公開時の情報です。

事例③

社員の自律的な動きを促す 新しいオフィススタイル

ネットイヤーグループ株式会社様事例

デジタルマーケティングにおける戦略構築や支援業務を行うネットイヤーグループ株式会社様が、オフィス移転に際してポイントとしたのは、社員の自律的なワークスタイルを促すことでした。この目的を果たすため、デスクワークをおこなう執務スペースにフリーアドレス制を導入。静かで落ち着いたインテリアを配置し、フロア内のどの席でも自由に使用できるように設計しました。

同社ではこの執務室とは別に、ネットワーク環境を完備したラウンジスペースも設置。ミーティングはもちろん、ちょっとした休憩やランチなど、オン・オフどちらでも利用できるようにしています。ハイテーブルやソファ席など、使用目的や気分に応じて選ぶことができ、社員の働きやすさとともに、アクティブなワークスタイルを促進しています。

！ 同社事例のポイント

- 社員が集中できるレイアウトのフリーアドレス
- 静かで落ち着いたインテリアで統一
- オン・オフ多目的に使えるラウンジスペース



人員増にも対応する執務室



アクティブなワークスタイルを促すラウンジ

！ 事例データ

社名：ネットイヤーグループ株式会社様

オフィス面積：2,400㎡

入居者数：約490名

内容：オフィス移転

※本事例公開時の情報です。

事例④

社員が自身のワークスタイルを自ら構築できるオフィス

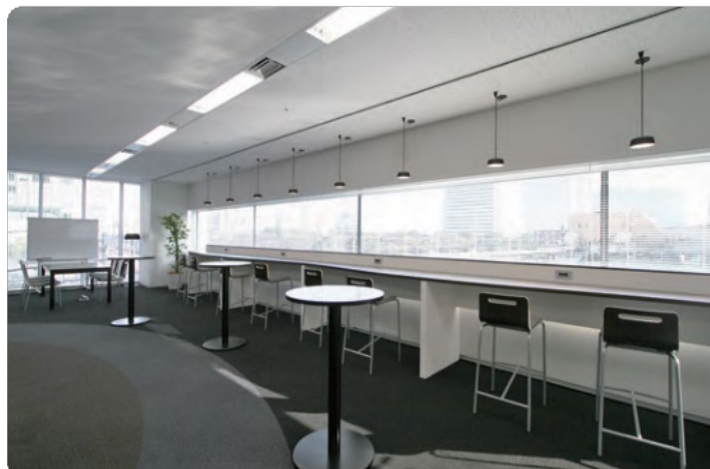
株式会社プラネット様事例

日用品や化粧品の流通情報システムの開発をはじめとした情報サービスを提供する株式会社プラネット様は「オフィスのスペース不足を解消し、社員のクリエイティビティを引き出すような環境を整えたい」との思いからオフィス移転を決定されました。

オフィス構築の際にポイントとしたのは「社員が効果的なワークスタイルを自ら考え、発見すること」と「従来の一般的なスチールデスクとチェアで構成されたオフィスから脱却すること」の2点です。各個人のデスクのほかに、テーブル席やカウンター席、ソファタイプのスペースなど多様な空間を用意。各スペースには業務に必要な電源やモニターを完備するなど、従業員が業務内容やその時の気分に合わせて適切な空間を選び、独自にワークスタイルを構築できるフリーアドレス制を整えています。



一部にフリーアドレス制が導入された執務スペース



開放的な窓側に用意されたカウンター席

！ 同社事例のポイント

- 社員が自身のワークスタイルを自ら構築できるオフィス
- テーブル席やカウンター席など、多様な空間を設置
- 全てのスペースに業務に必要な電源やモニターを用意

！ 事例データ

社名：株式会社プラネット様
内容：オフィス移転

※本事例公開時の情報です。

事例⑤

使い心地の良さを目指した ハイブリッド型フリーアドレス

プラス株式会社ファニチャーカンパニー事例

固定席とフリーアドレスの“いいところ取り”

弊社プラス株式会社ファニチャーカンパニーが市ヶ谷に移転して3年。リニューアルにカンパニー全体の声を反映すべく、オフィスデザイン、製品企画、営業、マーケティングの各部門から6名を集め、リニューアルプロジェクト・チームを結成。これからのオフィスはどうあるべきかを模索してきました。

経営層へのヒアリングや社員の声を聞く座談会など、いくつかの調査を経て私達が出した結論は、その時々にあわせて仕事する場所を選べるフレキシブルなオフィスを構築すること。一人で集中して仕事をしたい時、ゆったりとアイデアを思い巡らせたい時、社員同士でコミュニケーションを深める時など……それぞれ仕事のシーンによって、居心地のいい場所は異なります。そのため、リニューアルに際してはホームとなる固定の自席を用意しつつ、さらに仕事や気分に合わせて、居心地の良い場所を選べるようにしました。

※本事例公開時の情報です。
現在は移転しており、掲載のオフィスはご見学できません。



簡易的なミーティングに使えるラウンジスペース



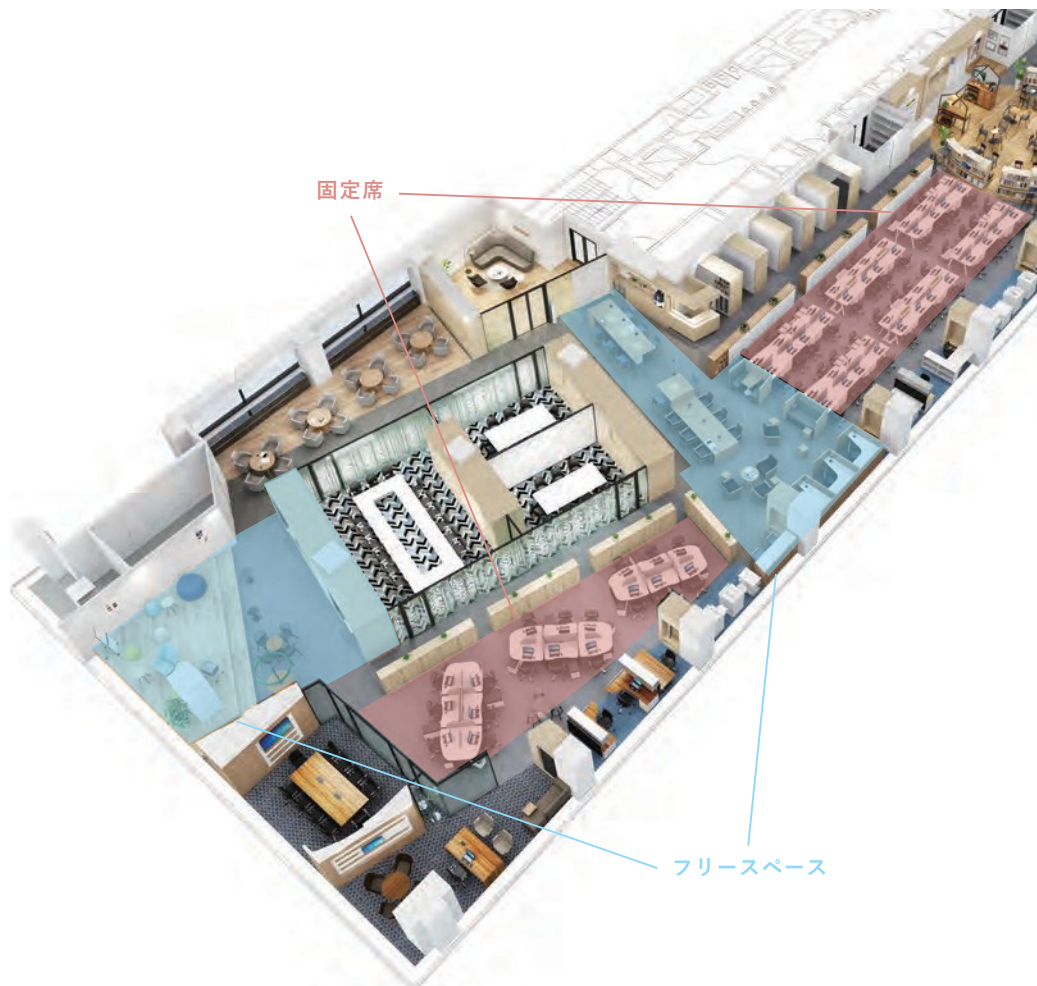
集中ワークのためのブースエリア

事例⑤

働きやすさを考えた多彩な空間を用意

生まれ変わったオフィスでは、固定席のほかに複数の業務スペースを用意しました。そのひとつが図面を広げての作業や、軽いミーティングに使えるラウンジスペースです。立ったままでのクイックな打ち合わせに対応できるよう高めのデスクを配置し、社員ががやがやと集まることができるスペースを目指しました。

また、業務に集中したい時は、隣の人から話しかけられて仕事を中断される心配がないブースエリアを、ブレインストーミングなどアイデアをじっくりと練りたい時には少人数でのフリーミーティングに使えるスペースを用意するなど、作業内容にあわせて居心地のいい空間をチョイスできるようにしています。柔軟な働き方を促し、さらに交流も生まれやすいとして社員からも好評です。



！ 同社事例のポイント

- 固定席とフリーアドレスを両立したオフィス
- 仕事のシーンに合わせて、居心地のいい場所を選べる
- クイックな打ち合わせにも使えるラウンジ
- 集中ワークが可能なブースエリア
- 少人数でじっくりアイデアを練るためのスペース

！ 事例データ

社名：プラス株式会社ファニチャーカンパニー
オフィス面積：1,151㎡
入居者数：140名
内容：オフィスリニューアル

※本事例公開時の情報です。
現在は移転しており、掲載のオフィスはご見学できません。

PLUS Furniture Company

<https://kagu.plus.co.jp/>

働き方のヒントを探すオフィス見学

プラス オフィス見学

